

つとむ まなぶ むすぶ



よろこび

2016年9月号 (No.10)

CONTENTS

- ② 第15回鹿嶋市芸術祭、第10回て～ら祭
- ② 施設紹介・ようこそ！まなびの杜
「研修室203」
- ③ 市民センのひろば ほか
しみせん
- ③ 地域レポート・まちづくり探検隊
鹿島地区「こども広場」
- ④ INTERVIEW ROOM・きらり★まちづくり
「気象コンパス主宰・古川 武彦さん」



かしま灘楽習塾
「パッチワーク (はなみずき会)」



市民カレッジ
「筑波大学発—おもしろふしぎ科学実験工作隊」



かしま灘楽習塾
「かしま灘ピンポン塾」



かしま灘楽習塾
「琴・三味線・十七絃の教室」



かしま灘楽習塾
「書道漢字入門」



かしま灘楽習塾
「吹いてみようハーモニカ (上級)」



鹿嶋市社会福祉協議会
「点字ボランティア養成講座」



かしま灘楽習塾
「大人の塗り絵 (初級)」



市民カレッジ
「筑波大学発—おもしろふしぎ科学実験工作隊」



第2回 鹿嶋っ子夏フェス



かしま灘楽習塾
「花柳流日本舞踊教室」



第2回 鹿嶋っ子夏フェス

第15回 鹿嶋市芸術祭

10月25日(火)～30日(日)

9:30～17:00(最終日は～15:00)

まちづくり市民センター体育館

部門 絵画・書・写真・工芸・洋裁・編物・手芸・華道
和紙絵(ちぎり絵)・自由創作

出品資格 市内に在住・在勤の高校生以上の方及び市内
の社会教育施設などを活動の場とする方

出品申込 9月20日(火)～25日(日) 9:00～17:00
※まちづくり市民センターまたは各地区まちづくり
センターにある所定の申込用紙に必要事項を記入し
て同所に申込み

搬入 10月23日(日) 13:00～14:00
まちづくり市民センター体育館

搬出 10月30日(日) 15:00～

問合せ まちづくり市民センター TEL:83-1551



▲昨年度の展示会場の様子

第10回 て～ら祭

— 10周年 みんなで祝おう て～ら祭 —

11月5日(土)～6日(日)

まちづくり市民センターおよび体育館



まちづくり市民センターに集う人たちの「出会いと絆」づくりと、日頃の活動の成果を発表して、つどい・学び・つくる喜びを共有することを目的に開催します。



▲昨年の餅つき大会の様子

★ステージ発表

ダンス、合唱、楽器演奏など

★体験・作品展示

語り部、演劇、各種スポーツ、団体活動展示など

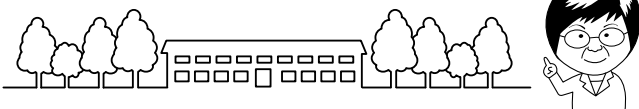
★模擬店

焼きそば、とん汁、から揚げ、混ぜご飯、手作り木工品など

★スマイル抽選会

問合せ まちづくり市民センター TEL83-1551

～まちづくり市民センターの館内をシリーズで紹介～



ようこそ! まなびの杜

(vol.7)

「研修室203」



研修室203は2階の廊下を挟んだ北側にあります。ホワイトボードに向かって左側が体育館よこの駐車場に面していて、中庭とは違う高木群の濃い緑の風景がみられます。キャスター付きの机やイスなど備品が他の研修室とは違うことも特徴です。

部屋は少々狭いですが、こじんまりと落ち着いた雰囲気です。少人数の学習、研修会、会議などに適しています。



【主な用途】

語学学習・フラワーアレンジメント・手芸・会議 など



＜研修室203データファイル＞

- 【場所】 B棟2階 【面積】 39㎡
- 【収容人数】 24名
- 【備品】 ホワイトボード・キャスター付き長テーブル12台・イス24脚
- 【施設の予約】 利用日の前月の1日から予約可能
- 【利用料金】 市内在住・在勤・在学者は無料。
但し、生涯学習活動ではない場合などは
有料(2時間まで510円、2時間以降1時間毎に250円加算)となります。

利用してます!!
しみせん市民センのひろば



マミーズカシマ
フラダンス講師
池田 信子さん(東京都)

大好きなハワイの音楽に癒されながら楽しく、気持ち良くレッスンしています。



国際交流さるびあ
日本語教室講師
高橋 伸夫さん(鉢形)

施設を利用させていただき十数年！おかげさまで、多くの外国人が日本語の初歩を習得して、卒業していきました。



かしま楽園倶楽部 会員
大淵 勝利さん(鉢形台)

かしま楽園倶楽部の加入団体である“林城保存協力隊”が整備している※鹿嶋市指定文化財史跡『林外城遺構』のホームページの作成に携わっております。

※林城址
所在地は鹿嶋市林
鹿島ハイツから北
へ徒歩15分程度

地域レポート



まちづくり
探検隊
(vol.10)



顧問

「私事(わたくしごと) 社会への挑戦」 入江康男さん ▲サンシャイン水族館で



鹿島地区「こども広場」

平日に行われている放課後児童クラブの子どもたちに、より多くの生活体験の場を提供しようと、毎月1回土曜日に開かれる鹿島まちづくりセンターの「こども広場」(内藤祥雄部長)が、8月10日に池袋サンシャイン水族館で移動研修を行いました。平成21年からスタートしたこども広場。卓球教室など単一メニューで行っていた当時は参加者数も思うように伸びませんでしたが、カレー作りやケーキ作りなどをセットにしたところ30名近くになり、工夫の大切さを教えられたということです。

広場の運営に中心メンバーとして当初から参加する顧問の入江康男さん(68)は、昭和50年代の公民館親子教室時代から数えると30年以上の活動キャリアの持ち主。「昔と比べると、親子で一緒にやろうという意識よりお客様感覚が強いように思う。異年齢の子どもたちとのさまざまな体験を通して、自分の子どもが目前でぐんぐん成長するのを見ない手はないですよ」と、他者との関わりを避け、自分の家族だけにしか関心を持たない私事(わたくしごと)社会への警鐘を鳴らします。



▲子どもは野外活動で笑顔がはじける



▲とうもろこしが焼き上がるのを待つ子どもたち

掲示板

市民カレッジ講座
『歴史ウォーキング』受講生募集

鹿嶋神の道の一部や史跡を巡り、歴史や由来を学びます。(小雨決行)
荒天時：散策コースの歴史学習(座学)

●日時
平成28年10月21日(金)
9:00~12:30終了予定(受付:8:45~)

●コース
集合場所：鹿嶋市まちづくり市民センター
<予定> 市民センター⇒山之上谷津田⇒
坂戸神社⇒沼尾神社⇒田谷沼⇒
塚原ト伝の墓⇒豊郷公民館(休憩)
⇒夫婦塚古墳⇒大塚古墳⇒稲荷
塚古墳⇒市民センター

●対象
市内在住・在勤の方

●定員
20人(※応募多数の場合は抽選)

●参加費
200円(保険代等)

●募集締切
10月11日(火)

●申込方法
下記へ直接申し込むかTELまたはFAX(氏名・性別・年齢・住所・電話番号を記載)で申し込み。

【申込先】
鹿嶋市まちづくり市民センター(月曜休館)
〒314-0031
鹿嶋市宮中4631-1
TEL: 83-1551/FAX: 83-1553
(受付時間 9:00~17:00)

丸ごと好奇心のかたまりの

自称「天気野郎」

気象コンパス主宰

古川 武彦さん (76歳・浜津賀台)



理科好きが高じて

農家の長男に生まれた理科好きの少年が、高校の物理の授業で学んだ人工衛星スプートニクの夜空の軌道を実見した感動から、やがて「地球と気象」にちなんだ職業に一生を捧げることになる。高校を卒業後、職員のまま勉強ができるという理由から、内定していた地元の大蔵省印刷局勤めを断って定員15人の狭き門だった現在の気象大学校に入学。20年に及ぶ気象研究所勤務や、本庁航空気象管理課長、予報課長などを歴任した後、札幌管区気象台長を最後に平成11年3月退官した。在職中に東京理科大卒業、国家公務員上級試験合格、理学博士号取得など苦勞人でもある。

気象を知ることで
防災意識も

気象庁時代の思い出は多い。「新米職員時代、第2室戸台風を観測したり、航空気象管理課長時にバンコクで開かれた「アジア・太平洋航空会議」に出席し、現在の東京航空路火山灰情報センター設立に寄与するこ



▲市教育センターの研修で訪れた皇居の気象観測地点で(市教育センター提供)

とができた。予報課長時代には記念すべき第1回気象予報士の試験。

『天気野郎』にはどれも懐かしい思い出です」と語る表情は謹厳そのものだ。

「多くの人に地球環境や気象に関心を持ってもらうことが防災や減災にもつながるとの思いから、本を書いたり講座を開いたりしています。その活動ベースが『気象コンパス』です」。現在は毎月、かしま灘楽習塾や、千葉シニア自然大学で教えるほか、7～8月にかけてレイクエコーの「県民大学」で5回の講座を持つなど、活躍の場を広げている。

市行財審委員として
「鹿嶋らしさ」を考える

中公新書「気象庁物語」など著書も多数。昨年5月から茨城新聞日曜版「テイスト」に連載中の気象コラム「晴れときどき曇り」は70回を数え、四季の折々をとらえた文章のファンも多い。「1回当たり約600字なんです、テーマを決め文章を書き写真も自前。毎週だとこれが意外に手強い。読者から手紙をもらったりと嬉しいですね」と微笑む。市行財政審議会委員としても3年目

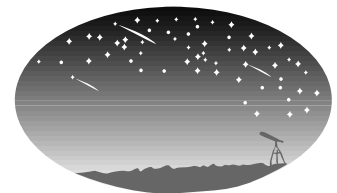


▲レイクエコー「県民大学」で

を数え、「行革大綱などは事務局案でほぼ問題ない。私には鹿嶋らしさをどう盛り込めるかが一番の関心事です」と語る。氏が考える鹿嶋らしさは、水と緑、それに海からの清浄な空気を抜いては語れないと、ここでも自然環境と結びつく。

こだわる玄人はだしの趣味

趣味も多彩だ。門扉など自宅の外構工事は自ら設計から資材調達、施工まで手がけ、休耕地を借りた家庭菜園は2百坪もあるというから生半可ではない。毎夕ほとんど欠かさない、住まいのある浜津賀台から海岸までのウォーキングで雲や空を観察する。カラオケで歌い、自ら積極的に公表することはないが東京のシニアモデル事務所に登録し、オーディションを受けては雑誌の紙面を飾ったりもする。まるごと好奇心のかたまりで、生きることにこれほど意欲的な76歳に拍手。



<PROFILE>

■ふるかわ・たけひこ

S15滋賀県東原市生まれ。高校卒業後、気象庁に勤務。予報課長などを歴任し、H11札幌管区気象台長で退官。理学博士。H20鹿嶋市浜津賀台に居を構え、「気象コンパス」を主宰。講演、執筆に力を注ぐ一方、多彩な趣味を楽しむ日々を送る。

『気象コンパス』のホームページは、
<http://www.met-compass.com>